

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公開番号】特開2006-279549(P2006-279549A)
 【公開日】平成18年10月12日(2006.10.12)
 【年通号数】公開・登録公報2006-040
 【出願番号】特願2005-95650(P2005-95650)
 【国際特許分類】

H 0 4 R 3/00 (2006.01)

H 0 3 F 3/181 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 R 3/00 3 2 0

H 0 3 F 3/181 B

【手続補正書】
 【提出日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

2 通りの操作方向に操作可能な操作子と、

前記 2 通りの操作方向の一方の操作方向の操作に基づく操作量を検出する検出手段と、

前記 2 通りの操作方向の他方の操作方向の操作に基づき、前記操作量をパラメータ設定値の変化量に変換するための分解能を、少なくとも 2 種類の分解能のいずれかに設定する分解能設定手段と、

前記分解能設定手段により設定された種類の分解能に従い、前記検出手段により検出された操作量をパラメータ設定値の変化量に変換する変換手段と、

前記変化量に基づきパラメータ設定値を変更する変更手段と
 を具える音響制御装置における操作子の操作検出装置。

【請求項 2】

前記操作子は、回転操作と、該回転操作の回転軸に沿う押し込み操作との 2 通りの操作方向に操作可能であり、

前記操作子の回転操作に応じた操作量に基づき前記パラメータ設定値の変更を指示すると共に、前記操作子の押し込み操作に基づき前記分解能を前記少なくとも 2 種類の分解能のいずれかに設定するものであることを特徴とする 請求項 1 に記載の音響制御装置における操作子の操作検出装置。